



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 森上 倫輔 (TEL) 03-3471-5521
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	119,143	9.7	2,656	43.6	3,790	48.0	2,616	41.8
2026年3月期第1四半期	108,580	3.3	1,850	△17.6	2,561	1.3	1,845	6.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,420百万円(19.6%) 2026年3月期第1四半期 2,024百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	45.80	—
2026年3月期第1四半期	32.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	213,524	95,696	44.8
2026年3月期	202,134	95,733	47.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 95,692百万円 2026年3月期 95,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	43.00	43.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	4.9	9,200	5.0	11,400	3.4	8,500	1.9	148.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

株式会社オサベフーズ
新規 3 社 (社名) マルトヨ食品株式会社、除外 — 社 (社名)
株式会社超冷

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	58,567,656株	2026年3月期	58,567,656株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,425,305株	2026年3月期	1,421,928株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	57,142,632株	2026年3月期1Q	57,152,761株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

決算補足資料は、2026年8月13日TDnetに提出するとともに当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

食肉業界を取り巻く環境は、物価上昇による節約志向を背景に、比較的值頃感のある豚肉・鶏肉の需要が堅調に推移しました。一方で、飼料価格やエネルギー関連コストが高水準で推移するとともに、包装資材等のコスト上昇も影響し、事業環境は厳しい状況で推移しました。

こうした事業環境のもと、当社グループでは「世界中のお客様のニーズに応えるサプライチェーンの実現」をテーマとする新中期経営計画をスタートし、その達成に向けた各種施策に取り組んでまいりました。

中期経営計画2030では、「強みのさらなる進化とグローバル市場への挑戦」を掲げております。「グローバルサプライチェーンの構築」による海外市場への販売拡大と、「市場動向を捉えた販売体制の最適化」による国内市場での販売強化を推進し、市場シェアの持続的な拡大に注力しております。

海外では、外食業態や小売業態を中心に、和牛の需要が高まっています。当社は、国内で培った営業ノウハウを海外市場で展開するために、国内の営業部門と輸出部門の組織改革を行いました。これまで培ってきた調達力、加工技術および品質管理ノウハウを活かし、海外市場での販売を拡大してまいります。

国内では、市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、製造・営業拠点の最適化を進めるとともに、加工食品群の品ぞろえ拡充と生産能力強化による商品力向上、ならびにサプライチェーン全体でお客様視点に立った商品提案の強化に取り組んでおります。

4月より、冷凍ハンバーグを中心とした加工食品の製造・販売を手掛ける株式会社オサベフーズがスターゼングループの一員となりました。今後は、オサベフーズの生産力と当社グループの販売ネットワークを組み合わせることで、加工食品群の更なる販売強化を図ってまいります。

サステナブルな事業運営につきましては、省エネルギー施策の推進や業務効率化を進め、事業運営の効率化および環境負荷の低減に取り組んでまいります。また、人権尊重やサプライチェーン調査、アニマルウェルフェアへの取り組みを通じて、持続可能な事業基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は119,143百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は2,656百万円（前年同四半期比43.6%増）、経常利益は3,790百万円（前年同四半期比48.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,616百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

事業部門別の売上高概況は、次のとおりです。

(単位：百万円)

各事業部門の売上高	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半期	増減額	増減率
食肉関連事業	118,373	107,746	+10,626	+9.9%
食肉	90,357	86,722	+3,635	+4.2%
加工食品	25,403	18,501	+6,901	+37.3%
ハム・ソーセージ	2,090	2,076	+13	+0.7%
その他	522	446	+76	+17.1%
その他の事業	770	833	△63	△7.6%

また、部門別の業績は次のとおりです。

(食肉)

国内事業においては、物価上昇の長期化による消費者の節約志向の高まりに加え、国産・輸入商品ともに仕入価格の上昇が続くなど、厳しい事業環境となりました。一方で、輸入牛肉において在庫管理、利益管理が適切に行われつつ販売が堅調に推移したことにより、売上高および売上総利益ともに前年同四半期を上回りました。

食肉のカテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉においては、消費者の節約志向や低価格志向が続く中、国産牛・国産豚の食肉相場が高値で推移したことにより、売上高は前年同四半期を上回ったものの、売上総利益は前年同四半期を下回りました。

輸入食肉においては、現地相場高や円安などの影響により輸入食肉価格が高止まりしましたが、先物成約分の荷渡しが順調に進み、利益確保につながりました。その結果、売上高および売上総利益はともに前年同四半期を上回りました。

輸出事業においては、前期に完全子会社化したADIRECT SINGAPORE PTE. LTD. と国内営業部門との連携のもと、東南アジア市場における販売拡大に向けた事業基盤の整備を進めました。

(加工食品)

加工食品においては、ハンバーグやローストビーフ関連商品の販売が堅調に推移したことから、売上高および売上総利益は前年同四半期を上回りました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージにおいては、価格改定や商品の統廃合、生産ラインの見直しによる生産性向上、新商品の開発を進めた結果、売上高および売上総利益は前年同四半期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、5,238百万円増加し、130,678百万円となりました。これは、主として売掛金、前渡金が増加したものの、商品及び製品、未収入金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、6,103百万円増加し、82,797百万円となりました。これは、主としてのれん、建物及び構築物、建設仮勘定が増加したことによるものであります。

この結果、資産合計では、前連結会計年度末に比べて、11,389百万円増加し、213,524百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、5,750百万円減少し、62,470百万円となりました。これは、主として買掛金、未払費用が増加したものの、1年内償還社債、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、17,177百万円増加し、55,357百万円となりました。これは、主として社債、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、11,426百万円増加し、117,827百万円となりました。
(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、37百万円減少し、95,696百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日付け公表の「2026年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、2027年3月期の配当予想につきましては、修正をしております。詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,242	18,358
受取手形及び売掛金	36,280	32,576
商品及び製品	44,136	54,629
仕掛品	874	1,004
原材料及び貯蔵品	2,750	3,172
前渡金	16,941	14,786
その他	6,589	6,501
貸倒引当金	△374	△350
流動資産合計	125,440	130,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,946	15,728
土地	13,418	14,086
その他（純額）	14,872	16,883
有形固定資産合計	42,238	46,698
無形固定資産		
のれん	2,318	4,915
その他	4,434	4,339
無形固定資産合計	6,753	9,255
投資その他の資産		
投資有価証券	24,709	23,590
その他	2,991	3,253
投資その他の資産合計	27,701	26,843
固定資産合計	76,693	82,797
繰延資産	0	48
資産合計	202,134	213,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,369	22,041
短期借入金	13,049	8,342
1年内償還予定の社債	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	12,356	12,676
未払法人税等	1,804	1,640
賞与引当金	1,981	1,067
その他	14,660	16,700
流動負債合計	68,220	62,470
固定負債		
社債	-	10,100
長期借入金	29,135	36,252
退職給付に係る負債	1,755	1,819
債務保証損失引当金	1,157	1,180
その他	6,132	6,005
固定負債合計	38,180	55,357
負債合計	106,400	117,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,543	12,543
利益剰余金	67,208	67,368
自己株式	△1,605	△1,606
株主資本合計	89,804	89,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,274	3,700
繰延ヘッジ損益	324	249
為替換算調整勘定	1,069	1,518
退職給付に係る調整累計額	256	259
その他の包括利益累計額合計	5,925	5,728
非支配株主持分	4	4
純資産合計	95,733	95,696
負債純資産合計	202,134	213,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	108,580	119,143
売上原価	98,262	107,275
売上総利益	10,317	11,868
販売費及び一般管理費	8,466	9,211
営業利益	1,850	2,656
営業外収益		
受取利息	7	18
受取配当金	102	110
持分法による投資利益	518	708
不動産賃貸料	17	31
受取保険金及び配当金	223	146
補助金収入	60	434
その他	87	175
営業外収益合計	1,018	1,625
営業外費用		
支払利息	211	376
不動産賃貸費用	9	10
その他	86	104
営業外費用合計	307	491
経常利益	2,561	3,790
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	-	630
特別利益合計	0	634
特別損失		
固定資産除却損	3	0
解決金	-	591
その他	-	60
特別損失合計	3	651
税金等調整前四半期純利益	2,557	3,772
法人税、住民税及び事業税	1,002	1,528
法人税等調整額	△290	△372
法人税等合計	712	1,155
四半期純利益	1,845	2,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,845	2,616

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,845	2,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	331	△574
繰延ヘッジ損益	△5	△74
為替換算調整勘定	△47	312
退職給付に係る調整額	△7	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△90	154
その他の包括利益合計	178	△196
四半期包括利益	2,024	2,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,023	2,419
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	922百万円	1,165百万円
のれんの償却額	一百万円	126百万円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、加工食品の製造・販売を行っている株式会社オサベフーズの全株式を取得し完全子会社化することについて決議し、2026年2月20日付でこれに係る株式譲渡契約書を締結し、2026年4月1日付で株式取得の手続きが完了いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社オサベフーズ

事業の内容：加工食品（主にハンバーグ）の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

2025年11月に公表した中期経営計画 2030（2026年4月～2031年3月）において、「加工食品群の品ぞろえと生産能力強化」を重要施策の一つに掲げており、本件株式取得はその基盤となるものです。オサベフーズとは、以前より業務提携関係にあり、オサベフーズ独自の高い技術力・生産性と、当社の販売力を繋ぎ合わせることで、お客さまニーズに沿う一層多様な商品を提供してまいります。

(3) 企業結合日

2026年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2026年4月1日から2026年6月30日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	4,300百万円
取得原価		4,300百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 32百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

2,665百万円

なお、発生したのれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

- (3)償却方法及び償却期間
10年間にわたる均等償却